



農業知識広場

# 農へのこだわり

〜知っててよかった〜



向井 健 指導員

市街化地域の農地の維持管理が年々難しくなっているなか、地域の農家が元気になるよう日々活動をしています。都市農業を守ろう！

## 『水稲栽培における刈取適期、収量判断』

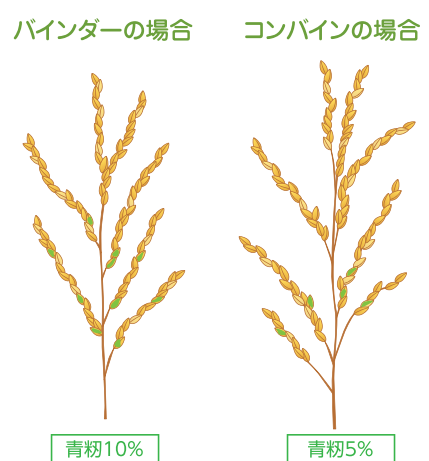
稲の刈取り適期の見極めは、収量・品質を確保する上で極めて重要で食味にも影響します。刈取り適期を見極め良質で美味しい米に仕上げましょう。

### ●刈取適期

登熟のすすみぐあいは、穂によって違い、枝こも先の方から登熟していきます。一般的に、出穂後の日平均積算温度が約1000℃で成熟期となり、出穂後35〜45日が稲刈りの目安となります。

品質については、成熟期より早く収穫すると、米の光沢は良くなりますが、未熟米が増え粒張り不良や青米が多くなります。また、遅くなりすぎると、胴割れ米や茶米などが増加し品質が低下します。

また、外見上の目安として、バインダーは、1穂中の青籾率が10%、コンバインは青籾率5%になったところが目安となります。



### ●収量判断

単位面積当たりの収量は、「1㎡当たり株数」「1株当たり穂数」「1穂当たり籾数」「登熟歩合」について調査を行い、その結果と「玄米千粒重」を用いて予想収量を推定します。考え方は下図のようになります。

千粒重は字のごとく子実1,000粒の重さ。一粒ずつでは軽すぎるものを比較する際に用いる重さの指標

$$1\text{m}^2\text{当たり籾数} \times \frac{\text{玄米千粒重}}{1,000\text{粒}} \times 1,000 = 10\text{a} \text{ 当たり 予想玄米重}$$

※10a=1,000㎡

$$1\text{m}^2\text{当たり株数} \times 1\text{株当たり穂数} \times 1\text{穂当たり籾数} \times \text{登熟歩合}$$

※登熟歩合：種子の完熟度合で、平均的な株の穂をとって乾燥させ、比重1.06の液に浸し、沈んだ籾の割合。  
コンバインロスや被害状況等による補正

10a 当たり 予想収量

## 今月の農作業

9月は、葉根菜類の種まきの時期です。その他、植え付けや間引き作業、追肥や土寄せ等の作業が続いても忙しい時期です。

秋野菜の種まきでは、徐々に気温も下がり日も短くなるので、播種が1日ずれるだけで収穫時期が大幅に変わります。播き遅れに注意し適期播種に努めましょう。

また、初期生育がスムーズになるよう、間引き作業や除草、追肥等も遅れないように行いましょう。

病害虫防除は早期発見、早期防除が基本です。日頃から我が家の圃場をよく観察し発生が予測される病害の予防散布と病害虫の発生を確認したら早急に対処しましょう。

## 営農のことにに関するアドバイス 営農110番

水稻・野菜・花き・果樹など、農業に関するアドバイスをいたします。

受付：平日 9:00～17:30

- 広島南営農事務所 ☎ (082) 849-6355
- 広島北営農事務所 ☎ (082) 841-4919
- 山県営農事務所 ☎ (0826) 85-0020
- 本店指導販売課 ☎ (082) 870-5893

※本店指導販売課では土曜日9:00～12:00まで対応